

## 第31回美容師筆記試験問題

### 埼玉県会場再試験用

平成27年3月9日

この問題用紙は指示があるまで、開いてはいけません

#### (注 意 事 項)

#### 1. 問題数と解答時間

この試験の問題数は50問で、解答時間は1時間40分です。

#### 2. 解答方法

- (1) 各問題の(1)から(4)のなかから、正解と思われるもの1つを選び、次の例にならってマークシートに記入してください。なお、1問につき2つ以上マークすると無効となりますので、注意してください。

〔例〕 問題20 次のうち、県庁所在地ではない市はどれか。

- (1) 山形市  
(2) 千葉市  
(3) 川崎市  
(4) 神戸市

(3)の川崎市は県庁所在地ではなく、正解は(3)となるのでマークシートの

問題20  ①  ②  ③  ④ のうち、 ③ にマークして

問題20  ①  ②  ③  ④ としてください。

- (2) マークシートは、コンピュータで読み取りを行いますので、HBの鉛筆またはシャープペンシル以外は使用できません。
- (3) マークは、 の外にはみ出さないように濃くマークしてください。
- (4) マークを訂正する場合は、「消しゴム」で消し残りのないように完全に消してください。
- (5) マークシートを折り曲げたり、汚したりしないよう、注意してください。

#### 3. 留意事項

- (1) マークシートに印字されている氏名及び生年月日が正しいか、受験票とマークシートの受験番号が同じか確認してください。
- (2) 問題の内容についての質問には、一切お答えしません。

# 問 題

## 関係法規・制度

問題 1 美容師及び美容所に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 美容師試験に合格した者であっても、美容師名簿に登録しなければ、美容師の資格は与えられない。
- (2) 美容師でなければ、美容を業とすることはできない。
- (3) 美容所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、あらかじめ都道府県知事に開設のための届出を行わなければならない。
- (4) 美容所は、美容師でなければ開設することができない。

問題 2 美容師免許の欠格事由として規定されていない者は、次のうちどれか。

- (1) 精神の機能の障害により、美容師の業務を適正に行うにあたって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行えない者
- (2) 外国籍の者
- (3) 無資格のまま美容の業を行った者
- (4) 美容師法に違反したことにより、免許の取消処分を受けた者

問題 3 美容師が美容の業を行うときに講ずべき衛生上必要な措置に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 衛生上必要な措置は、公衆衛生上危害を及ぼすことのないよう、法律により美容師に課されている義務である。
- (2) 衛生上必要な措置は、美容師法及び美容師法施行規則に定められている。
- (3) 美容師が美容の業を行うときに衛生上必要な措置を講じなかったときは、罰金が科せられる。
- (4) 衛生上必要な措置については、都道府県の条例でも定められている。

問題 4 美容師法に基づく行政処分に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 美容所の開設者が、環境衛生監視員の立入検査を正当な理由なく拒み、妨げた場合は、美容所の閉鎖を命じられることがある。
- b 美容師である従業者の数が常時2人以上である美容所の開設者が、管理美容師を置かなかった場合は、美容所の業務の停止を命じられることがある。
- c 美容師が、伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適当と認められる場合は、業務の停止を命じられることがある。
- d 美容師が、美容の業務を行うにあたって、消毒等の衛生措置を講じなかった場合は、業務の停止を命じられることがある。

- (1) aとb
- (2) bとc
- (3) cとd
- (4) aとd

問題 5 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づき設立された美容業生活衛生同業組合が、行うことができないものは、次のうちどれか。

- (1) 組合員の営業に関する資金のあっせん
- (2) 組合員に対する、営業の定休日及び料金の統一
- (3) 組合員の福利厚生及び共済事業
- (4) 組合員に対する、衛生施設の維持や改善向上に関する指導

# 衛 生 管 理

## 【公衆衛生・環境衛生】

問題 6 わが国の死亡率に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 死亡率は、通常、人口1,000人に対する値で表される。
- (2) 脳卒中の死亡率は、低下する傾向にある。
- (3) 乳児死亡率は、0歳児の死亡率である。
- (4) 2008年の乳児死亡率は、出生1,000人に対して5を超えている。

問題 7 メタボリック症候群の要因でないものは、次のうちどれか。

- (1) 肥満
- (2) 高血圧
- (3) 貧血
- (4) 高血糖

問題 8 わが国の介護保険制度に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 保険料は、原則として30歳以上の人が負担する。
- (2) 利用者は、利用したサービスの費用の3割を一律に負担する。
- (3) サービスを受けるためには、前もって保健所に申請しなければならない。
- (4) 利用者がサービスを受ける場所で大別すると、施設サービスと在宅サービスがある。

問題 9 電磁波に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 電磁波は、波長の長さで分類され、可視光線も電磁波の一つである。
- (2) 赤外線は、高温に熱せられた金属からも放射される。
- (3) マイクロ波は、ビタミンDの生成作用がある。
- (4) 電離放射線は、透過性が強いので、放射線診断やがん治療に使用されている。

問題 10 水道法に基づく消毒に関する次の記述のうち、正しい組合せはどれか。

- a 水道水には、塩素による消毒が規定されている。
- b 消毒薬により生じる臭味は、水質基準上許容されている。
- c 消毒薬の残留濃度は、浄水場出口地点で最終判定される。
- d 塩素消毒のみを行う上水道を簡易水道という。

- (1) a と b
- (2) b と c
- (3) c と d
- (4) a と d

【感染症】

問題 11 次の感染症のうち、消化器系感染症でないものはどれか。

- (1) コレラ
- (2) 細菌性赤痢
- (3) 腸チフス
- (4) デング熱

問題 12 細菌の増殖と環境による影響に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 細菌の発育や増殖には、水分を必要としない。
- (2) 多くの細菌の最適 pH は、酸性である。
- (3) 細菌のなかには、酸素の存在が有害であるものがある。
- (4) 細菌の発育に紫外線は必要である。

問題 13 予防接種に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 予防接種とは、人工的に免疫を獲得させ、感染症の予防を図ることである。
- (2) 全ての予防接種は、法律によって、強制的に実施されている。
- (3) 予防接種に使用する製剤をワクチンという。
- (4) ワクチンの種類によっては、口から飲む方法のものもある。

問題 14 感染症予防の3原則に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 医師が一類感染症患者を診断した場合の届出は、感染源対策の一つである。
- (2) 就業制限は、感染源対策の一つである。
- (3) 病原体に汚染された場所の消毒は、感染経路対策の一つである。
- (4) 患者の隔離は、宿主の感受性対策の一つである。

問題 15 B型肝炎に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 潜伏期間は、およそ1週間である。
- (2) 持続性感染になる可能性がある。
- (3) 予防するためのワクチンはない。
- (4) 性行為により感染することはない。



【衛生管理技術(消毒法)】

問題 16 消毒に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) あらゆる微生物を殺すか又は除去し、生きている微生物が存在しない状態にすることを除菌という。
- (2) 皮ふに接する器具の消毒には、美容師法施行規則に定められている消毒方法と同等以上の効果があれば、どのような方法を用いてもよい。
- (3) 消毒において、対象とする微生物は、主として病原微生物である。
- (4) 消毒には、必ず消毒薬を用いなければならない。

問題 17 理学的消毒法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 煮沸消毒は、沸騰後2分間で芽胞を不活化できる。
- (2) タオル蒸し器による消毒は、タオルの温度を80℃以上に2分間以上保たなければならない。
- (3) 紫外線消毒は、あらゆる微生物に効果があり、血液が付着したすべての器具の消毒に適している。
- (4) 乾熱と湿熱では、水分の多い方がタンパク質の変性が早く起こるので、同じ時間であれば、湿熱の方が殺菌効果は高い。

問題 18 紫外線消毒に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a タオルやケープなどの布片の消毒に適している。
  - b 被消毒物の内部まで消毒できる。
  - c 紫外線殺菌灯は、2,000~3,000時間の照射で出力が低下するので、取り替える必要がある。
  - d プラスチックの一部には、紫外線を長時間照射すると、劣化するものがある。
- (1) aとb
  - (2) bとc
  - (3) cとd
  - (4) aとd

問題 19 化学的消毒法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 血液が付着した器具に、76.9～81.4%のエタノール水溶液を使用する。
- (2) 血液が付着していない器具に、0.1%の塩化ベンザルコニウム水溶液を使用する。
- (3) 血液が付着していない器具に、0.05%のグルコン酸クロルヘキシジン水溶液を使用する。
- (4) 血液が付着した器具に、0.1%の両性界面活性剤水溶液を使用する。

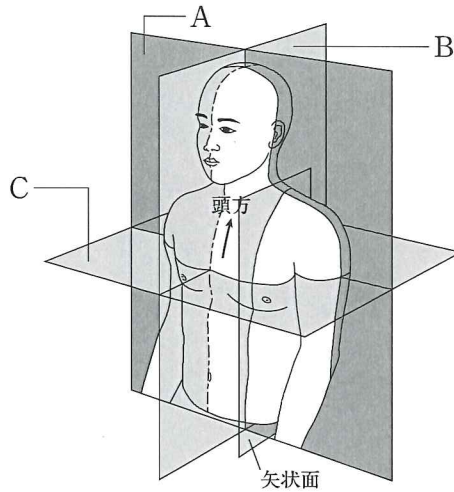
問題 20 次亜塩素酸ナトリウム溶液に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 次亜塩素酸ナトリウムは、石けんと反応するので併用できない。
- (2) 次亜塩素酸ナトリウムは、殺菌作用の他に漂白作用がある。
- (3) 市販されている次亜塩素酸ナトリウム溶液は、5～6%程度のものが多いので、適宜希釈して使用する。
- (4) 次亜塩素酸ナトリウムは、0.1%以上であれば、血液が付着した、あるいはその疑いのある器具に使用できる。

# 美 容 保 健

## 【人体の構造及び機能】

問題 21 下図は人体の面を表したものである。図の中のA、B、Cに該当する名称の組合せのうち、正しいものはどれか。



- | A                           | B        | C        |
|-----------------------------|----------|----------|
| (1) 正中矢状面 <sup>しじょうめん</sup> | 前額面(前頭面) | 水平面(横断面) |
| (2) 前額面(前頭面)                | 水平面(横断面) | 正中矢状面    |
| (3) 正中矢状面                   | 水平面(横断面) | 前額面(前頭面) |
| (4) 前額面(前頭面)                | 正中矢状面    | 水平面(横断面) |

問題 22 系統とそのおもな機能の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) 骨格器系 ——— 姿勢保持
- (2) 筋系 ——— 体表保護
- (3) 循環器系 ——— 物質運搬
- (4) 内分泌器系 ——— ホルモンの分泌

問題 23 次の筋肉のうち、呼吸運動を担うものはどれか。

- (1) 横隔膜
- (2) 上腕二頭筋
- (3) <sup>だいたい</sup>大腿四頭筋
- (4) 前頭筋

問題 24 次の神経のうち、顔の表情を調節するものはどれか。

- (1) <sup>さんさ</sup>三叉神経
- (2) 顔面神経
- (3) 外転神経
- (4) 滑車神経

問題 25 次の消化酵素のうち、胃液に含まれるものはどれか。

- (1) マルターゼ
- (2) サッカラーゼ
- (3) ペプシン
- (4) ラクターゼ

## 【皮膚科学】

問題 26 皮膚の構造に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 皮膚は、上から表皮、真皮、皮下組織の3つの層からできている。
- (2) 角化細胞(ケラチノサイト)は、メラニンという色素をつくる。
- (3) 色素細胞(メラノサイト)は、免疫に関与する細胞である。
- (4) 真皮の線維成分は、エラスチンというタンパク質からできた弾性線維がその大部分を占める。

問題 27 皮膚付属器官の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 毛には、生長期、退行期、休止期の生長周期がある。
- (2) 脂腺は、毛包に開口して、皮膚や毛にあぶらを与える。
- (3) アポクリン腺は、手掌、足底に多く分布する。
- (4) 爪の成分は、ケラチンというタンパク質である。

問題 28 皮膚と皮膚付属器官の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 皮膚の表面にある脂肪膜(皮脂膜)は、弱アルカリ性のため、細菌などの発育が抑制される。
- (2) 皮脂の分泌量は、頭部、特に額が最も多い。
- (3) 接触皮膚炎(カブレ)を起こすおそれがないか確認するために、パッチテストが行われる。
- (4) 爪は、爪母の一部が侵されると、その部分の爪は変形したり、再生できなくなる。

問題 29 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 油性のフケ症の人には、油性の整髪剤ではなく、乳化型の整髪剤を用いる。
- (2) 円形脱毛症は、細菌や真菌によっておこる皮膚疾患である。
- (3) ひげそりあとは、皮膚が荒れ、あぶら気がなくなっているため、ローションやクリームを塗る。
- (4) 保湿剤は、入浴後、水分が残っている間に塗布すると効果的である。

問題 30 皮膚疾患と病原体に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- (1) 水痘(ミズボウソウ) —— ウイルス
- (2) 脂漏性皮膚炎 —— 化膿菌
- (3) 尋常性<sup>ざそう</sup>痤瘡(ニキビ) —— ヒゼンダニ
- (4) 伝染性<sup>のうかしん</sup>膿痂疹(トビヒ) —— 真菌(カビ)

## 美容の物理・化学

問題 31 絶対温度の(K)とセルシウス温度の(°C)の関係に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 350Kは57°Cである。
- (2) 350Kは67°Cである。
- (3) 350Kは77°Cである。
- (4) 350Kは87°Cである。

問題 32 赤外線と紫外線に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 赤外線は、化学線ともよばれる。
- (2) 紫外線は、消毒・殺菌のはたらきがある。
- (3) 赤外線は、血液循環を促進する。
- (4) 紫外線は、長期間浴び続けると、皮膚に有害である。

問題 33 硬水に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 硬水中では、石けんはよく泡立ち、効果的な洗浄作用を発揮する。
- b 硬水は、カルシウムイオンやマグネシウムイオンを多量に含む。
- c 一時硬水は、煮沸するだけで軟化する。
- d 永久硬水は、カルシウムイオンやマグネシウムイオンを炭酸水素塩として含む。

- (1) aとb
- (2) bとc
- (3) cとd
- (4) aとd

問題 34 酸化剤と還元剤に関する次の文章の  内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

「  A  を与え、  B  や電子をうばう物質を酸化剤といい、逆に、  A  をうばい、  B  や電子を与える物質を還元剤という。ここで、酸化と還元は同時に起こるので、  C  は、ほかを酸化して自身は還元され、  D  は、ほかを還元して自身は酸化される。」

- |     | A  | B  | C   | D   |
|-----|----|----|-----|-----|
| (1) | 水素 | 酸素 | 酸化剤 | 還元剤 |
| (2) | 水素 | 酸素 | 還元剤 | 酸化剤 |
| (3) | 酸素 | 水素 | 酸化剤 | 還元剤 |
| (4) | 酸素 | 水素 | 還元剤 | 酸化剤 |

問題 35 次の高分子化合物のうち、タンパク質でないものはどれか。

- (1) コラーゲン
- (2) ヘモグロビン
- (3) ケラチン
- (4) ポリエチレン

問題 36 高分子化合物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) アラビアゴムは、植物から採取される天然高分子化合物である。
- (2) デンプンは、 $\alpha$ -ブドウ糖から作られる多糖類である。
- (3) タンパク質の構造に見られる  $-S-S-$  の結合をシスチン結合という。
- (4) エラスチンは、合成高分子化合物である。



問題 37 化粧品に用いられる色材とその分類に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- (1) 酸化鉄 ————— 白色顔料
- (2) 雲母チタン ——— 光輝性顔料
- (3) タルク ————— 着色顔料
- (4) コチニール ——— タール色素

問題 38 化粧品に用いられる物質とその主な配合目的に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- (1) ベンザルコニウム塩化物(塩化ベンザルコニウム) ——— 殺菌剤
- (2) ジブチルヒドロキシトルエン ————— 保湿剤
- (3) パラオキシ安息香酸エステル ————— 酸化防止剤
- (4) ヒアルロン酸ナトリウム ————— 収れん剤

問題 39 頭皮・毛髪用化粧品に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) シャンプー剤には、陰イオン界面活性剤や両性界面活性剤が洗浄成分として用いられる。
- (2) ヘアリンズ剤に用いられる第四級アンモニウム塩には、帯電防止効果がある。
- (3) スタイリング剤に用いられるポリビニルピロリドンは、皮膜形成剤である。
- (4) ヘアブリーチ剤は、毛髪に還元剤を作用させ、色素のメラニンを分解して脱色する。

問題 40 パーマネントウェーブ用剤に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a ケラチンのシスチン結合は、酸化剤を作用させると切断できる。
- b 一浴式パーマネントウェーブ用剤には、二浴式パーマネントウェーブ用剤第1剤(1液)の有効成分と第2剤(2液)の有効成分の両方が含まれている。
- c 二浴式パーマネントウェーブ用剤第1剤の有効成分のうち、システインはチオグリコール酸よりウェーブの形成力が弱い。
- d 二浴式パーマネントウェーブ用剤第2剤の有効成分のうち、過酸化水素水は臭素酸ナトリウムに比べて酸化力が強い。

- (1) aとb
- (2) bとc
- (3) cとd
- (4) aとd

# 美 容 理 論

問題 41 美容技術を行うときの作業姿勢に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 立位作業を行うときは、技術者の重心から下ろした垂線が、両足に囲まれた領域内にあることが必要である。
- (2) 前傾姿勢は、首や肩、腰の筋肉に負担がかかるため、立つ位置や両足の幅、重心の置き方に配慮して、体の各部分のバランスを保つようにする。
- (3) 作業点は、技術を施す箇所に正対して、技術者の心臓の高さにおいて技術を施すことが望ましい。
- (4) 肩の関節を固定させて手を動かす作業を行うときは、肘を伸ばして手先を動かす方が力が入り、作業も容易である。

問題 42 リンス、コンディショナー及びトリートメント剤のいずれにも含まれない成分は、次のうちどれか。

- (1) 過ホウ酸ナトリウム
- (2) 加水分解タンパク質(PPT)
- (3) ラノリン
- (4) ヒアルロン酸

問題 43 シザーズカッティングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) ブラントカットとは、カッティングされたラインを修整する技法である。
- (2) ポインティングカットとは、毛先を尖らせたり、軽くしたりする技法である。
- (3) スライシングカットとは、毛髪を直線でブツ切りにする技法である。
- (4) トリミングカットとは、毛量を全体に減らす技法である。

問題 44 パーマネントウェーブにおけるテストカールに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 巻かれているロッドの太さごとに、太め、細め、あるいはその中間をチェックする。
- (2) カール径は使用したロッド径の2倍が適正である。
- (3) 判断が困難な場合は、ネープ最下部の細めのロッドで判断する。
- (4) 放置タイムの長短でウェーブの強弱を加減することは避ける。

問題 45 カールシステムに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) システムの方向は、毛髪の流れ(ムーブメント)を左右し、角度は仕上がり時のボリュームに関係する。
- (2) メイポールカールは、ステムの角度が0度に近いフラットカールである。
- (3) リフトカールは、ステムの角度が45度以上に立ち上がって巻かれたカールである。
- (4) スタンドアップカールは、ステムの角度が135度に巻かれたカールである。

問題 46 アルカリ性タイプの酸化染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 1剤は酸化染料、2剤はアルカリ剤が主成分である。
- (2) アルカリ剤のはたらきで毛髪が膨潤して、キューティクルが開く。
- (3) アルカリ剤が過酸化水素を分解して、水と活性酸素を発生する。
- (4) 活性酸素がメラニン色素を脱色して、酸化染料が発色する。

問題 47 フェイシャルケアに関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

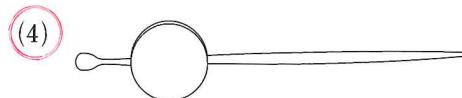
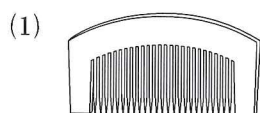
- a ディープクレンジングでは、クレンジング前に老化角質や過剰皮脂を取り除く。
- b 乾性肌の場合は、油分の少ないマッサージオイル(クリーム)を使用する。
- c マッサージオイルの使用量は、皮膚に負担をかけずに指先がスムーズに滑る程度がよい。
- d 脂性肌の場合は、毛穴を引き締め、皮脂抑制効果もある収れん化粧水を用いる。

- (1) a と b
- (2) b と c
- (3) c と d
- (4) a と d

問題 48 眉の整え方に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ツイザー(毛抜き)は、余分な眉毛を抜いて、眉を整えることができる。
- (2) レザーは、眉毛を剃ることによって、眉の位置や太さを自然なものにすることができる。
- (3) ドローイングは、アイブ로우ペンシルで1本1本眉を描き、眉の形をラインではっきりと強調する。
- (4) シェーディングは、アイシャドーで眉毛の部分に陰をつけ、眉のボリューム感アップと自然な仕上がりにする。

問題 49 日本髪（和装髪）の装飾品のうち、平打ち（平打ち）に該当するものは、次のうちどれか。



問題 50 着物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 訪問着は、黒地または色地に、腰から裾にかけてだけ模様があるので、裾模様とよぶこともある。
- (2) 付け下げは、肩山と袖山を頂点として、裾から上向きの模様を、前・後の身ごろにつけたものである。
- (3) 小紋は、小さい模様を布地全体に型染めしたものであるが、現在では型染めの模様は、その大小にかかわらず小紋とよんでいる。
- (4) 紬（つむぎ）は、真綿から手紡ぎされた紬糸で織られた、絹織物の一種である。